

# 第3回中丹管内二級河川流域治水協議会を開催しました

流域治水の推進に向け伊佐津川と高野川の流域治水プロジェクトを策定しました。また、引き続き中丹管内の他の二級河川流域についても策定に向けた検討を開始することとなりました。

## ○開催概要

日時	令和3年11月10日（水） 13:30~14:30
開催形式	Web開催（Zoom）
議事	(1) 流域治水プロジェクトの最終とりまとめについて (2) 今後の進め方について (3) 流域治水に係る最近の話題について

## ○出席者と主な意見

### （舞鶴市 堤副市長(代理出席)）

ソフト対策の重要性の認識しており、内閣府SIP実証実験モデル自治体として、水位観測、避難情報発令システムの開発を進めている。また、宅地嵩上げや高野川の事業間連携等も進めており、流域治水プロジェクトの早期完成を目指して取組を加速すべく、引き続きの支援をお願いしたい。

### （綾部市 山崎副市長(代理出席)）

伊佐津川の上流部約7km<sup>2</sup>が本市に該当し、約330世帯が暮らしている。流域治水プロジェクト策定後、関係機関の連携により治水対策がこれまで以上に推進されることを期待している。引き続き河川管理者としての対策や技術面・財政面での支援をお願いしたい。

### （京都市中丹広域振興局地域連携・振興部 和久部長）

当部では、避難行動に繋がるようなタイムラインの作成に力を入れている。今後とも流域自治体とともに取組を進め、速やかな避難行動に繋げられるよう進めたいのでご協力をお願いしたい。

### （京都市中丹広域振興局農林商工部 岡田部長）

ため池、治山ダムなどのハード整備に加え、ため池ハザードマップの作成や「ため池点検野帳」による点検（中丹独自の取組）、治山ダムの見学会などのソフト対策を実施しながら、地域や関係機関と連携し取り組んでいきたい。

### （京都市中丹広域振興局建設部 西村部長）

河川のハード整備についてはロードマップにて短期および中長期の目標も明示した。また、ハード整備には多額の事業費を要するため、しっかり事業が進められるよう、予算獲得に向け努力していきたい。

### （京都府港湾局港湾企画課 秋田課長(代理出席)）

洪水を速やかに海へ放出するには、河口部での浚渫が課題。役割分担を図りながら、取り組みたい。山地の土砂流出抑制についても、各管理者において一層の対策をお願いしたい。

### （京都府水産事務所漁政課 戸嶋課長(代理出席)）

平成30年7月豪雨では舞鶴漁港の市場機能が停止した経験から、河口部において浚渫を継続している。今後も、本協議会の中で、流域治水の取組に参加し、上流部整備を担う各機関と連携していきたい。

### （京都府建設交通部 濱田部長）

各機関の取組を共有し、優先順位や役割分担を定め、早期の治水安全度向上につなげることに価値がある。本協議会を、30年後の治水安全度目標に向けた役割分担等を話し合うための端緒としたい。



協議会の様子

